

櫻井木材グループ

CSR

活動報告書

櫻井木材株式会社

32期

櫻井木材加工株式会社

38期





人を組み、木を組み、
「100年企業」の先を育む。

櫻井木材グループ SAKURAI GROUP >

About Us

LUMBER TRADING COMPANY

1926年の創業以来、櫻井木材グループは、ひとの暮らしに寄りそい支えるさまざまな木材製品の供給を通して、社会に広く貢献することをめざし歩み続けています。100年の節目に向け、信頼の輪を着実に重ね、さらなる未来を育みます。

長年の実績による、強固かつ安定した供給ネットワーク。

品質・コスト・納期・サービス・環境など、すべてにおいて顧客ニーズ以上の満足をお届けするために。海外産出国へ出向き、商品を選択、加工指示から製品チェックまで管理、必要に応じて一次・二次加工された製品をお客様に提供。長年の企業実績によって築かれたSAKURAIへの信頼が、迅速かつ安定した供給を支えています。

次世代の環境を見据えた循環型の資材を、主力商品に。

櫻井木材グループでは、環境に配慮した循環型の木材を主力商品として、調達しています。

モノの提供を超えた「付加価値」をプロデュース。

海外の供給先と国内マーケットを結ぶトレーダー＝商社として。櫻井木材グループは、豊富な商品知識はもとより、素材の選定・加工方法、産出国の動向などの情報提供や、より有効なマーケティングについてもご提案。

「モノ」の売り買いに留まらず、信頼性の高い「ソース（情報源）」「バリュー（価値）」を付加したサービスを提供しています。

Top Message

Best Team Company

櫻井木材グループは、世界有数のものづくりの拠点として知られる愛知の地において、1926年（大正15年）に創業。以来、「人員は少なくして、扱い数量は多くする」といういわゆる“少数精鋭”の経営で今日の実績を築いてまいりました。

「事業を永続的に存続させるためには、社員ひとりひとりが経営者意識に目覚め、全社一丸となって“全員経営”に取り組み、地道であっても着実な業績伸長をめざすことが、堅実経営の真骨頂として最も望ましい」。

そうした創業者の意思を受け継ぎ、「櫻井木材とつきあって良かった」とお客様に喜ばれお役に立てるよう、努力を惜しまず、社員一同心をひとつに日々研鑽を重ねています。

従業員の仕事と家庭の両立を支援し、より豊かで幸せな人生、家庭を築くことを目指しております。

いつの時代も、長年にわたりご愛顧くださった方々との良き出会いとご厚情があってこそ今日があることを、けっして忘れてはなりません。「良きお客様、良き先輩、良き友人、良き家族に恵まれることの喜び」。先代から受け継いだすべての財産に感謝し、より付加価値の高い製品・サービスの提供を通じて広く社会に貢献してまいります。



櫻井木材株式会社
櫻井木材加工株式会社
代表取締役社長 櫻井雅規



CSR活動方針

櫻井木材グループ株式会社

CSR 方針

私達は木材、木製品及び住宅関連資材を通じ社会に貢献します。

主な取組み

- 環境

合法木材の取り扱いにより、森林資源の維持管理と有効な活用商品を提供しています。

- 働き方

互いに働きやすい環境づくりに努め、自らの人権を守り、他者の人権を守るための実践行動をする各種研修支援により社員が能力を発揮できる組織づくりに取り組んでいます。

ユーザー志向に沿った商品を紹介しすぐれた生産性を供給します。

- 生活

木材の活用とストック型住宅の供給により、豊かな町、快適な住まいづくりに積極的に関わっていきます。工場見学などに協力し、地域社会、学校教育に貢献しています。

CSR調達ガイドライン

櫻井木材グループでは、事業活動を通じて社会に貢献したいと考えています。

これを実現するためには、お取引先様のご理解・ご協力が不可欠であり、共に取り組むべきと考える事項を整理したものです。

本ガイドラインへの取り組みを通じて、櫻井木材グループとお取引先様が、共に社会的責任を果たし成長していきたいと考えております。

(1) 信頼関係の構築

商品の原産地情報や、加工・調達に関する情報の把握と、その情報の開示ができるよう努める。

(2) コンプライアンスの重視

法令を遵守し倫理観を持って行動する。

反社会的勢力、団体とは一切の関係を持たず、毅然とした態度で対応する。

(3) 労働安全・健康への配慮

従業員やお取引先様の安全と健康に留意する。

自然災害など不測の事態に対して、安全確保と事業継続ができるよう努める。

(4) 人権の尊重

関係するすべての人の尊厳と基本的人権を尊重する。

Goals & Management



01. 環境

- 「なごやSDGsグリーンパートナーズ」認定エコ事業所に認定
具体的な取り組みは、ハイブリッド自動車の導入、環境配慮型事務用品の購入、国産材・合法木材の利用などです。

- 環境配慮型商品
環境配慮型商品の提案を積極的に行いエコ比率をUPする取り組みを行っています。

- 緑の募金
グループ各社に募金箱を設置しております。
募金は、植樹や間伐など国内の森林整備のほか、震災で被災した方々への支援、未来の担い手である子どもたちへの森林環境教育、また海外の緑化支援等にも使われています。

- 植林活動
SDGs、環境保護への取り組みの一環として、植林活動を始めました。
12000本の植林を目指します。

植林活動概要

活動目的	植林活動による環境保護、CSR・SDGsの達成
植栽場所	インドネシア共和国 東ジャワ州
植栽面積	10ha (東京ドーム約2個分)
本数	12,000本
樹種	ファルカタ

Goals & Management



02. 生活

- ペットボトルキャップ、使用済み切手の回収を始めました。
「わたしたちにもできること」を合言葉に世界の子供の健康を願い社員一人一人が社会貢献について考えています。
- 安全運転管理者による指導
社内イントラネットによる安全運転研修、注意喚起を7回実施いたしました。
- 運転適性検査
社用車を運転する新規採用者は、自動車運転試験場にて運転適性検査を受けて、自己の運転傾向を把握することで、安全運転の意識付けを行っております。

Goals & Management



03. 教育

- 新入社員研修

社会人としてのマナーなどを学ぶ基礎的な外部研修に加え、社内ではSDGs、コンプライアンス、ハラスメント研修などを行いました。

- 外部研修支援

希望者に対し、外部研修受講の支援、資格取得の支援を積極的に行っています。

- 知的財産権基礎研修

知的財産権に関する基礎知識を社員全員が学べるように社内共有資料を公開しました。

- 環境研修

なごやSDGsグリーンパートナーズ、エコ事業所認定に伴い、環境研修を行いました。

Goals & Management



04. 働き方

- 育児休業復帰支援

育児休業からの復帰を積極的に支援しました。

育児と仕事の両立ができるよう社員同士の協力と時短勤務制度の活用により復帰しやすい職場環境づくりをしています。

- ノー残業デーの実施

あいちワーク・ライフ・バランス推進運動賛同事業所として、県内一斉ノー残業デーを実施しました。日頃から効率、生産性のアップを心掛け残業を減らす取組みを行っています。

- テレワーク導入

テレワーク環境の整備に取り組んでいます。